薬学総合演習 (Comprehensive Pharmaceutical Exercise)					担当教員
					教授 細井 信造 講師 開 章宏 助教 吉村 典久 他 担当教員
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
薬学専門教育(実習等)	4年次 後期	演習	3.5単位	必修	

【概要】

4年次では、これまでに各専門必修講義科目で学んだ知識を確実に定着させるだけでなく、科目間の関連性を理解し総まとめをすることが重要となる。本演習は2部構成で行う。第 部ではモデルコアカリキュラムで示されている代表的な8疾患のうち4つの疾患を取り上げて、科目横断的にグループワークなどを取り入れた参加型演習を行う。第 部では、基礎系科目(物理・化学・生物)を中心とした基礎重要項目について講義・演習を行い、基礎の定着と思考力の醸成を図る。本演習は対面(又はオンデマンド型)授業で実施する。

【授業の一般目標】

第 部：代表的な8つの疾患を中心とした科目間の相互関係の理解

第 部：基礎系科目の重要項目の復習と理解、知識の定着

[関連する卒業認定・学位授与方針] DP1・DP2・DP3・DP4・DP5

【準備学習(予習・復習)】

予習：(第 部)あらかじめ出された課題について事前に調べておくこと(1~2時間程度)。

(第 部)その日に実施する内容について前もって学習しておくこと(1~2時間程度)。

復習：(第 部)その日に実施した内容について見直すこと(それぞれ1時間程度)。

分からないことがあればすぐに質問するなど疑問・問題点の早期解決を図る努力をすること。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	心疾患	長澤吉則 他	「心疾患」を取り上げ、その病態、治療薬の薬理や薬物動態等を概説できる。	E2-(3)- -1~6
2	がん	中村暢彦 他	「がん」を取り上げ、その病態、治療薬の薬理や薬物動態等を概説できる。	D2-(1)- -1~3 E2-(7)- -1~3 E2-(7)- -1~13 E2-(7)- -1,2 E2-(7)- -1
3	免疫・アレルギー疾患	細木誠之 他	「免疫・アレルギー疾患」を取り上げ、その病態、治療薬の薬理や薬物動態等を概説できる。	C8-(1)- -1~4 C8-(1)- -1~3 C8-(1)- -1~5 C8-(2)- -2 E2-(2)- -1~9
4	脳血管障害	小原幸他	「脳血管障害」を取り上げ、その病態、治療薬の薬理や薬物動態等を概説できる。	E2-(1)- -4~11
5	物理化学	吉村	溶液の性質、反応速度について説明できる。	C1-(2)- -1~4 C1-(3)- -1~7
6	有機化学	細井	有機化合物の立体構造、酸性度・塩基性度について説明できる。	C3-(1)- -1~8 C3-(3)- -1,2
7	分析化学	吉村	酸・塩基平衡について概説できる。	C2-(2)- -1~4
8	生物学	開	細胞の構造と機能、糖質、脂質、アミノ酸、遺伝情報を担う分子、遺伝子の複製、転写・翻訳の過程と調節について説明できる。	C6-(1)- -1,2 C6-(1)- -1 C6-(1)- -1 C6-(2)- -1 C6-(2)- -1,2 C6-(2)- -1 C6-(2)- -1 C6-(4)- -1,2

				C6-(4)- -1~3
				C6-(4)- -1
				C6-(4)- -1~5
				C6-(4)- -1

【成績評価方法・基準】

第 部の試験（50％）および第 部の試験（50％）の結果をもとに評価する。